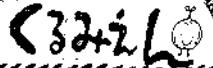


# ずしぼんじ

発行第244回 R4.3.7 広報委員会 小原保育の会 幼児教室



役員さんより、

## 一年の活動を終えて

会長 小茂田 十恵

「くるみえんがこの光もずっと続いてほしい」という気持ちで原動力になり、一年間役員をさせて頂いたように思います。役員会では本当に沢山話し合っており、甲身は濃いけどあつという間の一年でした。話し合うのは時間のかかることですが、この光も自分にとってかけがえのない時間になっていくと信じています。近年思うようにはおしゃべりの時間は難しくなっていますが、子どもたちの成長を一緒に喜び合ったり、学び合ったり、時には愚痴を言いあったり、これからはくるみえんがそんな場所であってほしいと思います。これまでも沢山の人の支えられながら、何度も話し合いを重ねて続けてきたくるみえん、来年度も子どもたちが健やかに育つ場所であり続けられるようには「子どもをまん中に」とそれぞれの人のできる形で、みんなが支え合っていていけたらと願っています。

副会長 スズキ 優

目の前にはくるみえんのキャンパスと手には役員会の筆を持つところから始まりました。

まずは今年どんな絵を描いていこうか？みんなが話し合いました。そしてみんなが持っている色も教えてください。色が無ければ何も描くことはできませんね。描きながらこれだけの確認は迷い、すべての色は揃っているか確認しながらも、果たして先を想像できているだろうか。このまま描き続けていこうかと思う時もありました。絵には正解もなければ、とてもひとりでは描けないものばかり。

それでも締めるまで描き続ける環境がここにあり、キャンパスはすべてを受け止めてくれます。思いもよらぬ景色が広がります。簡単でもよく時間がかかるとしても面白くもあり感情が揺さぶられる作業でした。この絵の完成と共に今年度の役員会の役目は終わりますが、この筆を運び持ったこと、同じ仲間がいたこと、とても誇らしく今までの経験ができました。

本当にありがとうございました。来年はどのような絵が完成するか楽しみです。あつたの色は何色ですか？

クラス委員長 橋島 理恵

この一年クラス委員長として携われて、とても有意義な時を過ごせました。自分自身の成長のチャンスも与えて頂いてありがとうございました。と意気込んで活動し始め、役員で沢山話し合ったり笑い合ったり、子ども達の為に良い方向性を模索した楽しい日々は、あつという間でした。

コロナ禍の制限がある中で親密な交流もままならず、少しずつ人付き合いにも希薄になっていく世の中。社会的にも情報化が進み、効率的になり合理的でドライな世の中の流れに引張られがちですが、手觸りひまかけたものや、人ひとりの寄り添いだ、たり、人間らしい活動がやはり一番の原動力になるし、くるみえんでの活動は心が熱くなりました。

くるみえんの為に自分ができる事は何か...と考えていましたが、結果的に私自身が充実した時間を過ごせて、この経験は自信となり更に前進しよう！という気持ちにさせてもらえました。五年の互選会で感じた「幸せでいる自分を選んでいく」という気持ち、子どもにも伝えていきたいです。皆さまご協力ありがとうございました。

一年を振り返る会に参加して

思えば、参加した始の方々が発言されていた。その発言から皆さんの人柄を垣間見ることができ、嬉しい収穫となった。有意義な場として会を終えたい要因には、二つの要素があると感じている。一つは、事前に議題が示されていってお陰で、各々が前もって考え、ある一定の立場や意見を持った状態で参加できたという点である。議題は、役員会、クラス会、委員長会での話し合いを元に、役員方が三つのテーマにまとめた。時間を割いて事前準備に尽かされたことが伝わり、有難く思う。そしてもう一つは、どんな意見にもまずは耳を傾け受け入れる雰囲気があり、安心して発言できたという点である。風通しの良い話し合いの結果、ホワイトボード一面一杯と埋め尽くす意見が集まったことは、大きな成果である。一方、当日は意見を出し合うに留まり、それらを多角的な視点で議論し合うまでには至らなかったという点では、結論を出すにはさらに時間が必要な議題であったように感じる。意見を出し合う段階と結論を導き出す段階には、大きな隔りがある。各意見を多方向から検証し、より良い落とし所を探るには、かなりの時間を要するからだ。会が終わり、様々な意見が出たことに満足感を得たと同時に、果たして、これらの意見をいつ誰がどのように検証し、結論を見出すのだろうか、と疑問も残った。

会の終盤で一人の方が話された言葉が印象に残っている。正確には「何が」「どんな方法にも問題はつきものだが、やってみることが大切」という意図で受け取った。本当にその通りだと思う。今回の議題は、自主運営を掲げるに当たり、絶対に議論されるテーマだと感じている。どんな結論も完成形ではなく、常に検証の対象であり、適応点であると感じた。今回集まった意見はどれも恒久的かつ具体性のある有益な意見ばかりであった。今一度振り返り、より建設的な運営に役立てる有益な材料として活かされていくことを願う。

ひばりぐみ 山本 朋子

「かけちゃん、当日は劇に出られないかもしれませんが、前日のお迎え時に、先生からそう告げられた。練習を嫌がり、全く参加しなかったらしい。当日の朝も「行かない」とおねだりして登室、出られなくても仕方ないと思ってくた。

## 劇遊びの感想 うさぎぐみ 矢木 美実

ももとはひばりの劇は楽しく参観して、いざ本番。お面をかぶせて舞台上に送り出すと、嫌がることなくお友達と同じ空間でオオカミ役になりきっていた。途中何度も廊下へ逃走したり、私の所へ来たりしたが「オオカミさん、行ってらっしゃい」と送り出すと「はい！」と元気に戻っていき頼もしい姿。そして、舞台上に戻るたびにさりげなく気にかけて支えてくれるお友達。そんなみんなの優しさで、連携プレーで見守って下さった先生方のおかげで、本人も無理なく笑顔で参加することができ、私は感謝の胸がいっぱいになった。

長いお話を口から考え、最後まで堂々と演じきった子ども達の姿はとてもうれしくて、どの子もキラキラと輝いていた。素敵な時間をくれたみんな、本当にありがとう！





名前 石原ちか

子ども 楓華 -3うが-

小学校 貝の花小学校

光の速さ3年半が過ぎて行きました  
母のくみえん生活は本当に素晴らしい  
娘は二人とおしゃべりになります。  
人見知り強く、他国から転入し  
初めは少し不安そうでしたが  
「できたよ」と言う事は、一度も無  
うに思いますが、早く慣れて下  
全の方達へ感謝の気持ちがいっぱい  
心の底からありがとうございます!!!!

名前 大竹 智子

子ども 大竹 湊哉

小学校 八幡崎

3ヶ月の時期にくみえんと過ごすことが  
出来た良かったです。子供だけだけでなく、  
親も成長することができました。  
ありがとうございました。

名前 矢木 真美

子ども 矢木 翔(かける)

小学校 柏市立酒井根小

くるみさんと出会って17年、先生さんといつも  
話し、みんなで子供の成長をわちか合える場所は  
私にとって日常で、生活の一部でした。それが終  
わりが来るなんて、いまだに実感がわきません。  
親子共々これまでどれだけ支えてもらってきた  
のか、長い間、本当にありがとうございました!!

名前 木 裕美  
子ども 木 弦希 (かける)  
小学校 上海  
一半年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。  
くるみさんとの出会い、経験、全てが私たちに親子の宝物です。  
園児にもお友達も保育者や保護者まで、二人にも笑顔あふれる  
場所があることばかり、毎日くるみさんに来るのがとても楽し  
かったです。  
最後にきりんご検定ができませんでした。皆さん本当に  
ありがとうございました。素敵な園に出会えて幸せでした。

坂の下の小けしき教室で 根本 幸子  
自然と共に、自然に学び自然を学ぶ庭  
思ひ切り自分を置いて場所を自分もえい  
いっしょに笑っていられたら  
いっしょに考えてくれる大人がいた  
ほめてくれる大人がいた: 気持ちよくて  
大人がいた: 心を込めて話を聞いてくれた  
大人がいた:  
真剣にイヤといってくる友だち  
やさしく、いっしょといってくる友だち  
いっしょにやるうといってくる友だち  
いっしょに笑ったり、心面してくれた友だち  
明日からはなかなかな道がある  
どの道を行けばいいか、自分に聞いてみる  
と自分で決めるもの、行かなくてもいい  
戻ってくればいい、又違う道を探るよ  
たぶんの人に会い、いっしょにやる「おもしろ」  
といっしょに遊べる。  
くるみさんはずっとここにあり、みんなをまわっている  
心で遊んでいる、愛しているから、楽しかったね  
ありがとうございました  
(第244号 P.3)